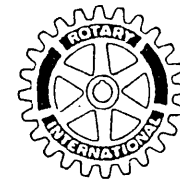


会員のしおり

補遺



平成5年5月

荒尾ロータリー・クラブ



その 1

◆ 新会員と情報委員との意見交換会

本文27頁に記載していますように、新会員にロータリーの概要を説明し、理解して頂くように努めることは情報委員会の重要な責務であります。情報委員長は新会員と速やかに会合を開いて所要事項を伝達しなければなりません。短時間のうちにそれらのすべてを尽くすことは頗る困難ですので、次のような順序にすればかなり要領よくまとめられるのではないかと思います。

I. 入会第1日又は入会行事以前に伝達する事項

- | | |
|-----------------------|-------------------|
| 1. 会員の特典と義務 | [会員のしおり]
P. 21 |
| 2. 会員身分の終結 | P. 23 |
| 3. 荒尾ロータリー・クラブの紹介 | P. 36 |
| 創立年月日 | |
| 会 員 数 | |
| 例会日時・例会場 | |
| 入 会 式 | |
| 推薦者から新会員紹介 | |
| 新会員挨拶（簡単に） | |
| 会長歓迎の言葉と共にバッジ、会員のしおり、 | |
| ロータリーの友、会報ファイル、会報を贈呈。 | |
| 会員は席を立ってロータリー・ソング「手に | |
| 手つないで」と共に新会員と握手 | |
| 4. 例会出席の意義 | P. 26 |
| 5. メーキャップ | P. 23 |
| 近隣クラブ例会 | P. 101 |
| インターアクトクラブ例会 | P. 53 |

II. 入会第2日又は入会行事以後に 速やかに伝達する事項

- | | |
|--|-------|
| 1. ロータリーの目的 | P. 11 |
| 2. ロータリーの誕生とその成長 | P. 12 |
| 3. 日本のロータリー | P. 18 |
| “ロータリーの友”第1頁に毎月世界と日本のクラブ数、
会員総数が記載されています。 | |
| 4. ロータリーの組織 | P. 12 |
| 5. 親睦活動委員会 | P. 43 |
| 6. スマイルボックス | P. 43 |

III. 荒尾ロータリー・クラブの慣行

1. 例会

(1) 席の配置

会長以下執行部席は会員席の一隅に置き、中央に来客席を設けています。その他の会員は自由としなるべく多くの人に接するように例会の都度席を変えることを勧められています。公式訪問、協議会などの時は指定席となります。

(2) 食事

着席したら直ぐに食事を始め開会まで会員相互の懇談の時間としています。例会行事が多いので時間を節約するためです。但し他クラブにメーキャップした場合は来訪者紹介の後に食事を始めるクラブもあるので司会者の指示に従うように気をつけねばなりません。

(3) 例会の順序

開会点鐘	(12:30)	
合唱	毎月第1例会日は国歌君が代に続きロータリーソング「奉仕の理想」、第2例会日以後はロータリーソングのみ	P. 78

来訪者紹介
会長の時間

幹事報告
委員会報告
親睦の時間

会員の誕生日、結婚記念日の御祝
会員のコメント、スマイル(コメントの代りに所定の用紙に書いて担当の親睦委員に託してもよい)

P. 42

出席報告
卓話
閉会点鐘

(30分)

P. 46

2. 会員名の呼び方

日本全国のロータリーでは会員の名前を呼ぶのに「君」を付けて呼ぶ慣例になっていますが、荒尾クラブでは「君」や、「様」は馴染まないということで「さん」付けで呼ぶことを決めています。しかし、先輩、後輩、年齢、職業等により通常呼び慣れている呼び方でよいではないかという意見もあります。

3. 親睦委員

新会員は入会直後は親睦委員会ともう一つの委員会に所属して頂くことになっています。親睦委員の仕事の一つに例会開始前の受付の業務があります。出来るだけ早い時期に会員及び来訪者の顔と名前を覚えて頂き親しくなって貰うためです。出来るだけ挨拶をし言葉を交わしてお互いに溶け込んで頂きたいと思えます。

4. 卓話

荒尾クラブは会員の卓話が主になっています。その原点は自分の職業を紹介し専門知識を他職業の会員に分かり易く披露することにあります。専門用語を駆使しても構いませんが、原稿又は要旨を会報編集者に提供する用意が必要です。

5. 環境保全委員会

或るガバナーの要請に従い社会奉仕の小委員会として設置されましたが、当時はその意義、必要性については疑問もあったようです。実際その後訪問された数代のガバナーからは他のクラブには環境保全委員会に類するものは無い、荒尾クラブだけであるとか、何故荒尾クラブだけ設置したのか、その設置目的は何処にあるのか等々、数々の質問を受けたものでありますが、現在では荒尾クラブの先見性が評価されています。

その 2

◆ 改 定 ・ 補 遺

6. 心肺蘇生法

ロータリーの社会奉仕とはただ品物を差し上げるのではなく心を育てるのが奉仕と考えています。昭和56年に荒尾クラブでは救急蘇生法練習用人形レサシアンと救急法の解説用16ミリフィルムを購入し、先ず会員が指導法を実習して身につけ、次いで各会員は会員の家庭や職場や地区内の学校、公民館を巡りそこで人々に救急法を説明し一人一人に体験して貰っています。この奉仕事業は1986年地区協議会に於いて「素晴らしき奉仕賞」を頂きました。

7. 一輪車大会

1987年、荒尾クラブ創立10周年記念事業として、第6代宮本博会長の発案で、荒尾長洲地区の16小学校に一輪自転車10台ずつ計160台とステンレス製練習用手摺を1基ずつ計16基を贈呈しました。一輪車は児童の平衡機能の向上、体力の増進に役立ちます。更にその普及を図り“児童の心身の健全育成と保護者との触合いの機会を作ること”を目的として、1990年より毎年荒尾市宮陸上競技場に於いて一輪車大会を開催し好評を博しています。

8. 年賀状交換

初代出口会長の提唱により当クラブ会員相互の年賀状交換はしないことを申し合わせています。正月早々の例会で顔を合わせるから年賀状は必要としないという考えからです。年賀状を書く手間が省かれ葉書50枚を節約できる代りとして1月第1例会日に2,000円をスマイルボックスに入れることになっています。

9. カレンダー収集

日立造船有明工場には多数の外国人が訪れています。毎年会員から余剰のカレンダーを提供して頂き、彼等に国際交流の一つとして贈呈する慣わしとなっています。特に日本の情緒の豊かなものが喜ばれます。

- | | |
|-----------------|-------|
| 10. 財団ボックス | P. 61 |
| 11. 米山ボックス | P. 66 |
| 12. 炉辺会合 (家庭集会) | P. 29 |
| 13. 趣味の会 | P. 30 |
| 14. みどり会 | P. 82 |

項 目 (会員のしり)	改 訂 ・ 補 遺	本 文 記 事
国際ロータリー 12頁	世界本部は米国イリノイ州エバンストンにあります。〔手続 81頁〕	
13頁	R I 理事会は1995~96年度より19名のメンバーとなります。〔手続 73頁〕	国際ロータリーの管理主体は、18名の理事からなる理事会
国際大会 31頁	第1回は1910年シカゴで開催されました。登録者数は60人でした。我が国では1961年と1978年東京で開催され特に後者は登録者数39,834人で現在までの大会中最も多い数です。〔手続135~138頁〕	
国際協議会 32頁	1993~94年度より毎年2月15日~3月31日までに開催されます。〔細則 第16条第3節、手続 143頁〕	1985年より2月中旬~3月中旬に開かれる。
地区の会合 31~32頁	クラブ会長エレクト研修セミナー 国際協議会后1ヶ月以内、地区協議会と時期を違えて開催されます。 会長エレクトは必ず出席しなければなりません。但し出席できない場合は次期ガバナーの許可を得た上所属クラブから指名した代理を必ず派遣してその報告を受けなければなりません。〔手続 55頁〕	

ローターアクトクラブ 54頁	18歳～30歳の青年によって構成されます。 〔手続 102頁〕	18～28歳の青年によって構成されます。
国際奉仕 54～56頁	ロータリー国際理解賞 国際的な重要な平和活動と人道的活動の何れかにより世界理解を推進しているロータリアン以外の人に与えられます。 受賞者は次の国際大会に招待され、炎の形のクリスタルと賞状及び米貨25万ドルの財団資金が受賞者の名を冠して寄贈され、受賞者は補助金、奨学金などのプログラムを選ぶことができる。〔手続 116頁〕	
55頁	世界理解と平和の日 〔手続 116頁〕	世界理解と平和週間
国際親善奨学金 57頁	1学年度の国際親善奨学金 マルチ・イヤー国際親善奨学金 (2年又は3年の国際親善奨学金で1年に付き均一米貨10,000ドル) 文化研修のための国際親善奨学金 (3ヶ月又は6ヶ月の語学力強化研修と相手国の文化に溶け込む事) 特別の目的をもった世界を枠とする競争制の奨学金 〔手続 167頁〕	大学院課程奨学金 (18～30歳) 大学課程奨学金 (18～24歳) 職業研修奨学金 (21～50歳) 障害者教師奨学金 (21～50歳) ジャーナリズム奨学金 (21～50歳) 特別の目的をもった競争制の奨学金

57頁	1993～94年度より旅費を除く1学年度の奨学金について、 <u>上限</u> が設けられました。 1993～94年度 18,000ドル 1994～95年度 20,000ドル 1995～96年度 21,500ドル それ以後については財団管理委員会がきめます。 上限までの奨学金は、授業料、部屋代、食費、学用品、教育性のある旅行に使われる。 〔手続 167頁〕	
財団の活動 57頁 59頁	ロータリー・ボランティア補助金 〔手続 167頁、171頁〕	ロータリー・ボランティア
シェア・システム 58頁	地区財団活動資金： 選択するプログラムは国際親善奨学金、開発途上国で奉仕する大学教員のためのロータリー補助金、同額補助金の提唱者側負担分など、 国際財団活動資金： 財団が実施しているすべての財団プログラム、例えば 年次研究グループ交換補助金、 3-H補助金、 同額補助金、 ロータリー・ボランティア補助金、 競争制奨学金、	

	ロータリー平和プログラム、 新しい試験的プログラムなど 〔手続 175頁〕	
	<p><u>シェア (Share) とは</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ロータリアンは、結束の精神で、世界中のロータリアンとその財産をシェア《共有》する。 管理委員会は、意志決定権限の一部を地区にシェア《分与》する。 ロータリアンは、財団を通じて世界中にロータリーをシェア《分かち合う》する。 	
研究グループ交換 58頁	チーム・リーダー(ガバナー代理)の配偶者は、公式の研究グループ交換旅行期間中、チームに同行することはできない。〔手続 169頁〕	19行目 ロータリアン以外の4人とガバナー代理と配偶者
財団への寄与 60頁	<p><u>ベネファクター (Benefactor)</u></p> <p>世界理解と平和のためのロータリー財団基金(基金 Endowment, 1982年設立)として、米貨1,000ドル以上を寄付した人、遺産贈与の希望を財団に通知した人は、ベネファクター(基金寄贈者)として表彰される。</p> <p>ポール・ハリス・フェローとの相違点の一つは、寄付が同「基金」宛であり、基金への寄付から生じた収益のみが、財団プログラムの資金に使用されること。R Iが100周年を迎</p>	

	える2005年までに2億ドルの基金確保及び財団活動の25%を調達する計画をもっている。	
60頁	<p><u>ポール・ハリス・フェロー</u></p> <p>ポール・ハリス・フェローが再度、1,000ドルを寄付すれば特に、ブルーのサファイアが一つ付いた金のラベル・ピンを贈られます。</p> <p>このような寄付を重ねると、最高五つのサファイアの付いたピンを受け取ることができます。</p> <p>〔手続 178頁〕</p>	
60頁	<p><u>メモリアル・コントリビューター</u>： 1992年の手続要覧からは削除されています。</p> <p><u>クラブに対する表彰</u></p> <p>地区内で一人当りの寄付の高い上位3クラブは財団から表彰されます。更に一人当りの寄付が前年度に比べ上昇した地区内3クラブも財団から表彰されます。</p> <p>〔手続 177頁〕</p>	
	<p>※ 手続 = 1992年度手続要覧</p> <p>※ 細則 = R I 細則</p>	

荒尾 R.C. 殿寄贈

40.0
13603
ロータリー文庫

平成5年5月21日

発行 荒尾ロータリー・クラブ
1992～1993年度会長 西 一 徳

編集 入門書改訂委員会
委員長 田宮 又 男
副委員長 坂田 譲
委員 中島 明
植松 陸 郎
月岡 純 一
福嶋 修 治

事務所 〒864 熊本県荒尾市下井手 1308
三井グリーンランドホテル内
TEL (0968) 62-7411
FAX (0968) 62-7411